

白雲荘の機能移転方針に関する陳情採択 衆議院選挙実施予算3200万円計上

日本共産党 市議会ニュース

発行2017年10月6日

袋井市議会の9月定例会報告

市議会の9月定例会が9月4日から28日まで開かれ、市長提出21議案の審査と採決を行い、いずれも可決認定。議員提出議案2件も可決されました。日本共産党は平成28年度袋井市一般会計決算、国民健康保険特別会計決算、水道事業会計決算の3つの決算認定に反対し、浅田一郎議員が反対討論を行いました。

平成29年度一般会計補正予算(第2号)

1億1100万円追加、総額329億5100万円。補正の主な理由は産地・パークアップ事業補助金(農業振興関連)5778万円余の県のふじのくに少子化突破戦略応援事業8100万円③職員退職手当基金積立金1億9000万円④各種建設事業での国・県補助額決定に伴う対象事業の変更1億6548万円余の減額などです。

平成29年度一般会計補正予算(第3号)

3200万円追加、総額329億8300万円。全額衆議院選挙執行のための選挙費用で、国からの委託金で賄います。

平成28年度一般会計歳入歳出決算認定

歳入総額335億584万円余、歳出総額325億974万円余、実質収支額8億9875万円余の黒字となりました。平成28年度は第2次総合計画のスタートの年で、ハード面では、防潮堤整備「ふくい幸浦の丘プロジェクト」の推進や浜西地区、東岡笠・大野地区命山の整備、笠原こども園の建設、ソフト面では袋井宿開宿400年記念事業などが行われました。前進・成果はあつたものの、いくつか問題

点を指摘し反対しました。

大企業優遇企業誘致に多額の補助金

平成28年度も用地費などに充てて交付する工場立地奨励補助金7300万円余が2社に、固定資産税相当額を3年間補助する産業立地事業費補助金1億1518万円余が5社に交付されました。

ライオンスクラブ会費支出は不適切

市長交際費から年々16万円が支出されていますが、市長個人で負担すべきです。

六ヶ所村核燃料再処理施設視察は問題

2兆2000億円も投入しながら破たんが明確な核燃料サイクル施設へ議員全員で多額の市費を使った視察は市民の理解は到底得ることはできません。

平成28年度国民健康保険会計決算認定

法定外繰入金を5600万円も減額しながら3億円をこえる実質収支額を出し、基金は7億5022万円余にもなりました。基金を活用し、高すぎる国保税の引き下げを行うべきでした。

平成28年度水道事業会計決算認定

平均4.2%の料金改定で給水収益は5127万円余の増額に。1億8371万円余の純利益となりました。しかし遠州広域水道との過大な受水契約で年間1億5千万円余の余分な負担を強いられています。早急な見直しが必要です。

シニアクラブ袋井市が提出

「白雲荘」を機能移転する 方針に関する陳情書を採択

市の方針は

老人福祉センター「白雲荘」は、60歳以上の高齢者を対象とした教養の向上、趣味活動・クリエーション等の生きがいや健康づくりの場として活用されています。しかし、昭和52年度建設ということもあって老朽化が進んでおります。近年、冷房機器の不調などや雨漏りも発生、多額の修繕費が必要との調査結果も出されております。また、便器の洋式化やエレベーターの設置など時代に合わせたバリアフリー化が求められています。



市は多額の修繕費をかけ維持していきながらも、健康増進施設「風見の丘」に「白雲荘」の機能を移し、健康と高齢者福祉の増進を目的とした複合型施設とする方針を打ち出しました。今年度、風見の丘の多目的室改修の基本設計予算を計上。移転に向け準備を進めてきました。

陳情趣旨は

「白雲荘の機能を風見の丘へ移転させようとする当局方針は、老人福祉センターの今後のあり方に自ら歯止めをかけるに等しいもの。移転先の風見の丘は面積的にも狭く、増築、増設がない限り、このように施設内改修がされても白雲荘機能縮小は明らかである。明確な高齢者福祉の展望を持たず、財政の効率化を優先させる市民不在の

当局方針は、袋井市の高齢者福祉の後退になるばかりか、将来に禍根を残すことになりかねないものである」と厳しく懸念を示す内容となっています。

陳情事項は①時間をかけ将来の「高齢者福祉施設・施設の在り方」を明確にすること。②白雲荘の利用者はかりでなく、広く市民の意見を聴取すること。

審査結果は採択

民生文教委員会でも審議を行い、シニアクラブ役員から意見聴取。市から、「①予算を考慮し活動の場の確保を図る。現状維持・風見の丘の改築、増築の3案について。②シャルコスト、ランニングコストを示すほか、跡地利用についても検討する。③シニアクラブだけでなく市民とも議論を深めていく。」との対応方針が示され、経緯を見守るとして「採択」となりました。

議員提出2つの意見書を可決

「道路整備に係る補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書」、「奨学金制度の充実を求める意見書」を全会一致で可決し、国に提出しました。

日本共産党市議団は今議会に、「静岡県国民健康保険運営に関する意見書(案)1」と「奨学金制度の充実を求める意見書(案)1」の二つの意見書(案)を提出。会派間の協議・調整の結果、前者は廃案に、後者は文面の修正を行い上程・可決となりました。

